

平成15年10月30日

会 員 各 位

社団法人 全日本病院協会
会 長 佐 々 英 達
医 療 安 全 対 策 委 員 会
委 員 長 中 村 定 敏

「医療従事者に対するインフルエンザ予防接種」のお勧め

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より当協会の活動につきまして、ご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、厚労省やWHOでは、今年の冬にむけSARSの再流行が警告されています。現時点では、SARSにはワクチンは無く、効果的な治療方法もありません。

SARSの世界規模の集団発生は夏の期間中は封じ込められていましたが、季節性に従って再度、流行する恐れがあり、インフルエンザの流行シーズン中の再流行が否定できません。インフルエンザや他の呼吸器疾患の症例、特にそれらが医療施設内での患者の集積として発生した場合には、SARSが疑われ、経済的に負担の大きい予防措置や調査を行うことになり、また、インフルエンザとSARS感染者の症状が似ているため、医療現場での対応にも混乱が生じる恐れがあります。

このような事態を防ぐため、当協会としても会員病院において医療従事者に対し、インフルエンザワクチンの接種を積極的に行うように強くお勧め致します。これにより、抵抗力の弱い患者への感染を防ぎ、SARSと誤認される可能性のある呼吸器疾患の症例数の減少を図ることができ、医療現場での混乱を防ぐことができます。

会員病院におかれましては、以上の点をご理解頂き取り組み方よろしくお願い致します。

敬具